



ご相談は支援センターへ

情報発見

26

2006/Summer

中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律について
創業支援事業活用企業紹介 (有) 奈良環境調和研究所
経営革新承認企業紹介 (株) ウインド
支援センターニュース
『2006なら・グッドデザイン』募集
微細精密加工技術展2007の募集

未知なるものへの挑戦 常に新しい商品の開発と企画をめざして



真空成型・圧空成型企画・製造販売
食品包装容器・プリスターパック・工業用部品トレー・
電化製品・医薬部外品・日用品・学用品類容器 他
委託包装加工
プリスター加工・シュリンク加工・ウェルダー加工・充填・梱包
菓子製造業許可工場

 **ダイシン化工株式会社**
DAISHIN

〒630-8454 奈良市杏町203番地 1
TEL: 0742(62)7951(代) FAX: 0742(62)5351
http://www.daishinkk.co.jp E-mail: info@daishinkk.co.jp

東京営業所
〒340-0834 埼玉県八潮市大首根1233-1
TEL: 048(997)3581
FAX: 048(997)3591
関東物流センター



新車・中古車の販売・買取のことならお任せください!!

全国ネットワークよりご希望にあった車輛をお探し致します。
全メーカーの新車もお取り扱い致しております。
どうぞお気軽にご相談ください!!



岡田自動車販売株式会社
〒636-0245 奈良県磯城郡田原本町味間297
HomePage <http://www.okada-jihan.co.jp>
E-mail Address info@okada-jihan.co.jp
TEL: (0744) 33-0128 FAX: (0744) 33-4646

あなたの笑顔が見たいから...

わたし達はITotoKIJJIの
可能性を追い求めています。

有限会社 原田利緒

〒639-0242
奈良県香芝市北今市6丁目484-6
TEL: 0745-76-4826 FAX: 0745-77-0503
E-mail: 7korobi8oki@ares.eonet.ne.jp
事業内容: 刺繍加工(ジャガード刺繍・
コード刺繍・サガラ刺繍・レーザー MIX その他)

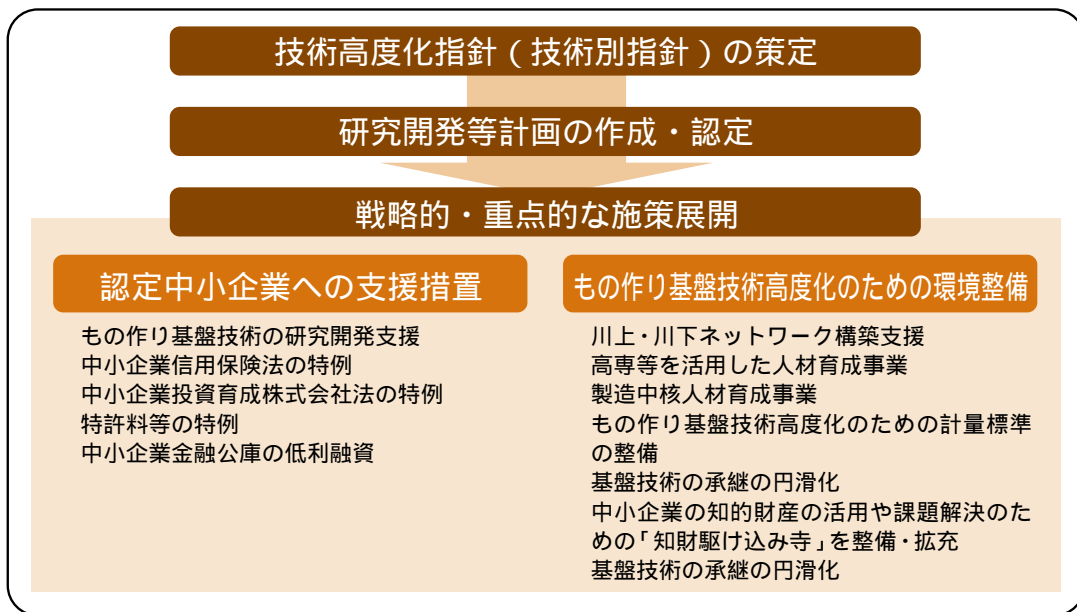
中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律が成立しました

Q 中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律とは？

A 中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律は、中小企業によるものづくり基盤技術に関する研究開発及びその成果の利用を促進するための措置を講ずることにより、中小企業によるものづくり基盤技術の高度化を支援するための法律です。

平成18年4月26日に公布され、平成18年6月13日に法律施行されました。

中小企業高度化法の事業の流れ簡単にまとめたものが下記の図になります。



Q 特定もの作り基盤技術高度化指針とは？

A 「特定もの作り基盤技術」(鋳造・鍛造・メッキ・プレス加工・金型等) を指定し、各技術について、当該技術を活用して最終製品を製造する大企業・発注企業のニーズを十分に整理し、「中小企業が目指すべき技術開発の方向性」を取りまとめた将来ビジョンを策定します。

本指針において、次にあげる事項が定められています。

1 特定ものづくり基盤技術の高度化全般にわたる基本的な事項

特定ものづくり基盤技術の高度化を図ることが、我が国製造業の国際競争力の強化や新たな事業の創出にとってどのような役割を果たし、どのような効果を与えるものであるのかという、当該技術の高度化の意義や重要性に關することや、当該技術の高度化を図るために必要な一般的な取組などの高度化に関する基本的な考え方について示すものです。

本規定は、広く中小企業者が個々の特定のものづくり基盤技術の高度化を図るために必要な研究開発等に関することだけでなく、高度化の全体的な位置付けや体系的な整理についての理解を深めることに寄与するものと考えられています。

2 個々の特定ものづくり基盤技術ごとに、達成すべき高度化目標

鋳造、鍛造、メッキ等個々の特定ものづくり基盤技術ごとに、中小企業者等の取引先である川下製造業者等の抱える課題及びニーズと、これらを踏まえた高度化目標を示すものです。

3 個々の特定ものづくり基盤技術ごとに、高度化目標の達成に資する特定研究開発等の実施方法

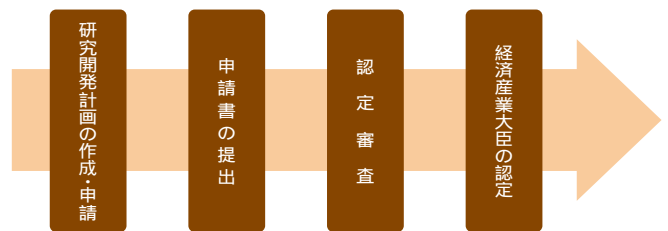
個々の特定ものづくり基盤技術ごとに2.に示した高度化目標を達成するために、中小企業者等が取り組むべき特定研究開発等の内容を示すものです。

4 個々の特定ものづくり基盤技術ごとに、特定研究開発等を実施するに当たって配慮すべき事項

個々の特定ものづくり基盤技術ごとに、中小企業者等が特定研究開発等を実施するに当たって、取引慣行、知的財産、人材の確保及び育成等中小企業者等及び川下製造業者等が配慮すべき内容を示すものです。

Q 研究開発計画等の作成・認定を受けるにはどうしたらよいですか？

A 上記の高度化指針に沿って、中小企業が(他の事業者と協力して)自ら行う研究開発等に関する計画を作成のうえ経済産業省へ申請し、それを個別に認定します。



Q 認定を受けるとどのような支援が受けられますか？

A 研究開発に対する助成や低利の融資など様々な支援を受けることができます。

認定は、各支援措置を保証するものではありません。支援策を活用できる対象になったということです。それぞれ実施機関においての審査があります。

認定企業への支援措置

研究開発に対する助成(戦略的基盤技術高度化支援事業)

我が国経済を牽引していく産業分野(重要産業分野)の競争力を支える重要基盤技術(鋳造、鍛造、切削、めっき等)の高度化等に向けて、中小企業が行う革新的かつハイリスクな研究開発や、生産プロセスイノベーション等を実現する研究開発を支援します。

お問い合わせ先

- ・中小企業庁経営支援部技術課 TEL:03-3501-1816
- ・各経済産業局
- ・(独)中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部
- モノ作り基盤技術支援課 TEL:03-5470-1523

特許化に係る特例措置

中小企業が認定計画の成果を特許化する場合の費用が減免されます。

(具体例)

1. 審査請求手数料 半額
2. 特許料 1年～6年分を半額

お問い合わせ先

- ・中小企業庁経営支援部技術課 TEL:03-3501-1816
- ・各経済産業局特許室

金融の円滑化措置(別途、各機関の審査を受ける必要があります。)

中小企業信用保険法の特例措置

認定計画に必要な資金の借入について、中小企業が利用できる信用保険の限度額を拡大します。

(特例の具体的内容)

保険種	通常枠	+	特別による別枠(拡大)
普通保険	2億円		2億円
無担保保険	8,000万円		8,000万円
特別小口保険	1,250万円		1,250万円
新事業開拓保険	2億円	→	3億円(限度額引上げ)

お問い合わせ先

(社)全国信用保証協会連合会
各都道府県等の信用保証協会

中小企業投資育成株式会社法の特例措置

中小企業が認定事業計画を実施するために増資するような場合には、資本金3億円超であっても、中小企業投資育成株式会社が株式引受等を行うこととします。

(通常は、投資育成会社は資本金3億円以下の中小企業にしか投資できません。)

お問い合わせ先

- ・東京中小企業投資育成株式会社 TEL:03-5469-1811
- ・名古屋中小企業投資育成株式会社 TEL:052-581-9541
- ・大阪中小企業投資育成株式会社 TEL:06-6341-5476

中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律について

中小企業金融公庫による融資

認定計画に必要な資金を優遇金利で借り入れられます。

中小企業金融公庫

お問い合わせ先

- ・東京相談センター TEL:03-3270-1260
- ・名古屋相談センター TEL:052-551-5188
- ・大阪相談センター TEL:06-6345-3577
- ・福岡相談センター TEL:092-781-2396

その他にも、もの作り基盤技術高度化のための環境整備支援策として様々なメニューが用意されています。

川上・川下ネットワーク構築支援事業

基盤技術を担う川上中小企業と、燃料電池や情報家電等の川下産業間の緊密なコミュニケーションを通じた「川上中小企業が技術開発の不確実性の低減」「情報の非対称性の解消」を図るため、川上・川下間の連携・すり合わせをコーディネートする人材の配置や、両者の情報交換の場の創設、マッチング機会の創出など、川上・川下間のネットワーク構築に向けた取り組みを支援します。

お問い合わせ先

- ・中小企業庁 経営支援部 技術課 TEL:03-3501-1816

高専等を活用した人材育成支援事業

「2007年問題」と呼ばれる団塊世代の退職を目前に控え、若手の現場技術者の育成はより切迫した課題となっていますが、中小企業が社内で人材教育を行うことは、資金・時間・人員の問題等から非常に難しいのが実態であります。

そこで各地の工業高等専門学校等が有する充実した施設や実務ノウハウのある講師陣を活用し、地元中小企業のネットワークと工業高等専門学校等設備を組み合わせ、最も効果的かつ効率的な人材育成を図ります。

お問い合わせ先

- ・各経済産業局 産業人材政策室
- ・中小企業庁 経営支援課 TEL:03-3501-1763

製造中核人材育成事業

製造現場のベテラン人材の高齢化や技術の高度化・短サイクル化に対応して、製造業の競争力を支える現場「技術」を維持・確保するための実践的な人材育成を、産業界と大学等が一体となって取り組むプロジェクトを実施します。

具体的には、地域の産業集積と大学等がコンソーシアムを

形成し、産業界のニーズに対応した人材育成プログラムの開発及び実施を行い、製造中核人材を育成する仕組みの確立を図ります。

お問い合わせ先

- ・各経済産業局 産業人材政策室

中小企業への計量標準供給基盤強化事業

中小企業を取り巻く急激な経営環境の変化の中で、これまで系列関係の中で大企業が中小企業の製品・技術の精度管理を担う状況から、中小企業自らが精度管理を行うとともに、市場に対して製品・技術の精度や信頼性を科学的・客観的に検証・記述していくことが必要とされる状況に変化している。こうした状況の中、グローバルなビジネス展開において不可避となる製品・技術の精度に関するトレーサビリティ体系の確立に向け、地域の試験検査機関における計量標準供給基盤の強化を行い、中小企業の自立的な発展・競争基盤を整備します。

お問い合わせ先

- ・経済産業省 産業技術環境局 知的基盤課 TEL:03-3501-9279
- ・中小企業庁 経営支援部 技術課 TEL:03-3501-1816

中小企業基盤技術継承支援事業

基盤技術を有するもの作り中小企業の技術・技能・ノウハウ等を形式知化・システム化し、もの作り中小企業の持つ優れた技術等を円滑かつ確実に継承するための基盤を整備します。

お問い合わせ先

- ・中小企業庁 経営支援部 技術課 TEL:03-3501-1816
- ・NEDO機械システム技術開発部 TEL:044-520-5241

中小企業知的財産啓発普及事業

知的財産の活用課題を有する中小企業に対し、知財活用のノウハウや問題解決の相談窓口をして全国の商工会・商工会議所をいわゆる「知的財産駆け込み寺」として整備を行う。併せて、企業経営の中核に知的戦略を据えた企業活動の普及を目的としたセミナーを各地で開催し、中小企業の知財活用を支援します。

お問い合わせ先

- ・最寄りの商工会、商工会議所
- ・都道府県商工会連合会
- ・全国商工会連合会 TEL:03-3503-1251
- ・日本商工会議所 TEL:03-3283-7824

企業紹介

i n t r o d u c t i o n

有限会社 奈良環境調和研究所



代表取締役 井上 俊之 氏

人々の環境意識を高めるために

井上氏は、平成17年3月に起業されました。当支援センターの平成17年度「起業なら奈良！ビジネスプラン」(事業可能性評価委員会)に応募され最高評価のAランクをされました。また、平成17年度第1回「起業家マッチングプラザ」にも参加され、事業計画のアドバイス・支援を受けながら、事業活動しています。

退職を契機に一念発起

井上氏は、開業決意される以前から環境計量に関わる仕事に携わっていました。その日々の仕事をこなしていく中、「環境問題というのは、よく“地球温暖化”や“海洋汚染”など世界的な広域な問題としてよく捉えられるが、その根幹にあるのは、我々の生活ではないのか？もっと身近な問題だと人々に意識してもらいたい。」という思いが次第に強くなり、会社を退職され開業されました。

同社では、その名の通り、環境にかかわる調査・分析を三つのメニューに分けて行っています。

作業環境測定・・・

労働者の健康を守るため、労働安全衛生法に規定された、指定作業場の環境状態を測定。職場内の有機溶剤作業、解体現場などの粉塵作業、騒音作業など

労働衛生コンサルタント・・・

職場の安全に関わる状況診断及び改善計画の作成などの受託相談及びコンサルティングを行います。

計量証明事業・・・

一般の環境に関わる、大気汚染防止法、騒音規制法、環境保全条例などに関わる環境の測定分析を実施。

排出ガス、有害大気汚染物質、水質検査、騒音、振動など

近年、「シックハウス症候群」や「アスベスト(石綿)」が社会問題となり、『環境』というものが俄然注目されるようになりました。最近特に多いのがアスベストの分析だそうです。

アスベストは、耐久性、耐熱性、耐薬品性、電気絶縁性などの特性に非常に優れ安価であるため、建設資材、電気製品、自動車、家庭用品等、様々な用途に広く使用されてきました。1973年アメリカでアスベストの製造物責任が世界初めて製造者責任が認定されたことに端を発し、世界的規模でアスベスト使用を削減・禁止する方向になり日本でも1975年に吹き付けアスベストの使用が禁止されました。しかし、アスベストの使用が禁止されるまでビルの耐火被覆材などに大量に使用されていたため、ビルの寿命による建て替え工事の際のアスベストの飛散が社会問題となっています。環境省では、建築物の解体によるアスベストの排出量が2020年から2040年頃にピークを迎えたと予測しています。

空中に飛散したアスベストを肺に吸い込むと約15年から40年の潜伏期間を経た後に肺ガンや中皮種の病気を引き起こす確率が高いと言われており、国や都道府県などの自治体では解体工事にかかるマニュアルを制定したり、条例化したりしています。いくらルール化されても、本当にその手順で行っているのかという不安が、解体現場周辺の住民には残ります。

その不安を取り除く一つの方法として同社の調査が役立っています。

大きく分けて作業前・作業中・作業後の3回、作業現場の空気のサンプルを回収・分析調査し、報告書に纏めて、説明のお手伝いをします。

「アスベストは飛散しても目に見えないものであるから、調査分析したデータが、周辺住民の方などへの説明に必要な資料となる。(井上氏談)

同社への依頼は、企業からだけでなく個人のお客様からも多く、住民方から「隣で解体工事をしているが、大丈夫なのか」と相談を受けることもあるそうです。

「去年の夏頃からそういった相談が多くあり、現場で説明することがあった。仕事以上にその件で走り回っていたので、専務に怒られることもしばしばあった。(笑)



現在のところ、当社ではアスベスト関係の仕事の依頼が一番多い状況ですが、水質分析や作業環境の測定により得た結果をもとにアドバイスできる総合的な調査分析会社にしたい。もっと人々に環境に関心を持っていただきたい。(井上氏談)

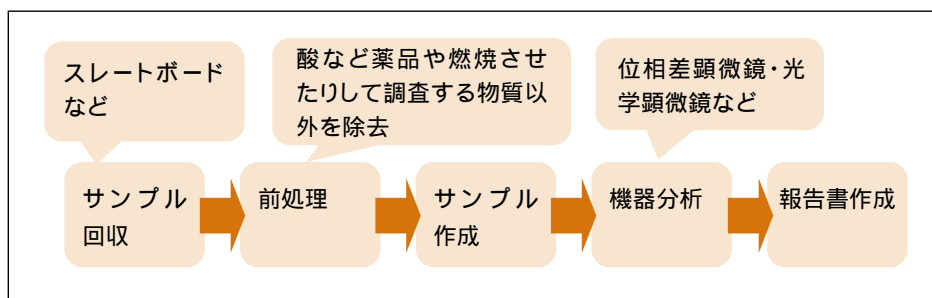
環境に関する問題は一過性ではありません。今後も有害物質などに対する法規制が増えていくことが予想され、同社の活躍のフィールドは広がっていくことでしょう。



石綿測定例
×400



調査分析フロー【アスベストの分析の場合】



会社概要:

有限会社奈良環境調和研究所
 代表取締役: 井上 俊之
 住所: 〒633-0062
 奈良県桜井市粟殿10007-6
 TEL: 0744-49-3744
 FAX: 0744-49-3745
 E-mail: neho105@siren.ocn.jp/
 事業内容: 計量証明、作業環境測定、コンサルタント

企業紹介

introduction

有限会社 ウィンド

代表取締役 中川 博敬氏

お箸の匠をめざして

同社は、1995年より、脳梗塞などの病気による障害、怪我による後遺症によって普通の「お箸が」うまく使えなくなった方々でも簡単につかひこなせる「箸」を研究・開発しています。平成17年2月22日に中小企業経営革新支援法に基づく承認を受け、「箸ノ助」「箸蔵くん」という新たな商品を開発し、福祉社会に貢献する企業となるべく経営革新を図っています。

トラブルからビジネスチャンスへ

同社の社長である中川博敬氏は、同社を立ち上げるまでは、鋳物工場を経営されていました。当時は「バブル」と呼ばれた好景気の真っ只中にあり、寝る間がないくらい仕事をしたそうです。「毎日、儲かっていくのが実感できる日々だった。ただひたすら何か物を造って収めている時代で、商売をしているという実感は薄かった。そのうちバブルが崩壊し、我々のような製造業者は、取引先から執拗にコストダウンを迫られ、低価格競争に巻き込まれるようになった。それからは、価格競争に生き残るため必死だった。その天国と地獄ともいべき景気の浮き沈みを体験した結果、お金を儲ける目的だけが商売なのか？という疑問に当たった。」(社長談)

そんな疑問を抱えつつ仕事をしているある日、社長は作業中に誤って右手を負傷し、仕事に追われていた日々から一転、治療の為に入院生活を送らなければならなくなりました。

退屈な入院生活での楽しみは食事。ところが、右手を負傷していた社長は、箸を使うことができず、慣れない左手でスプーンを使って食事を取らなければなりませんでした。

「箸を使って食べていないせいか、正

直食べているという実感が殆どなかった。やはり、なんとか箸で食べたいと思った。」(社長談) そう思った社長は、赤ちゃんのゲー、パーの動作「ニギニギ」からヒントを得て「ニギニギ箸」を開発しました。

箸は、つまむ・はさむ・運ぶという巧緻な機能を有しています。この「ニギニギ箸」は、バネの力を利用し箸先にすべり止めの細工をすることで、わずかな力でも普通の箸と同じ機能を発揮することを可能にしました。

この「ニギニギ箸」は、病院内で評判となり、手に障害を持ち普通の箸が使えない患者さんに使用してもらったところ、「箸を使って食べたのは何年ぶりか、うどんがおいしい。」と涙を流しながら食べられたとのこと。この時、手に障害をもっているもやはりスプーンなどではなく「箸」で食べたんだと確信されました。

「一見些細なこと思えるが、本人にとってはとても意味があること、自分も同じ体験をしてその事がよくわかった。これがきっかけで、必要とする人に喜んでもらえる箸を作り、自分もその喜びを味わえる仕事をしようと決意した。」(社長談)



試行錯誤の上に完成した『箸蔵くん』

箸先に竹箸を使用し、全体的にガッチリした安定感をもつタイプ。
右利き用・左利き用それぞれのタイプがあります。

誰にでもやさしいお箸

退院後、社長は、「ニギニギ箸」を基に知人や技術・医療関係など様々な人々の協力を得ながら新たな「箸」開発を進められました。

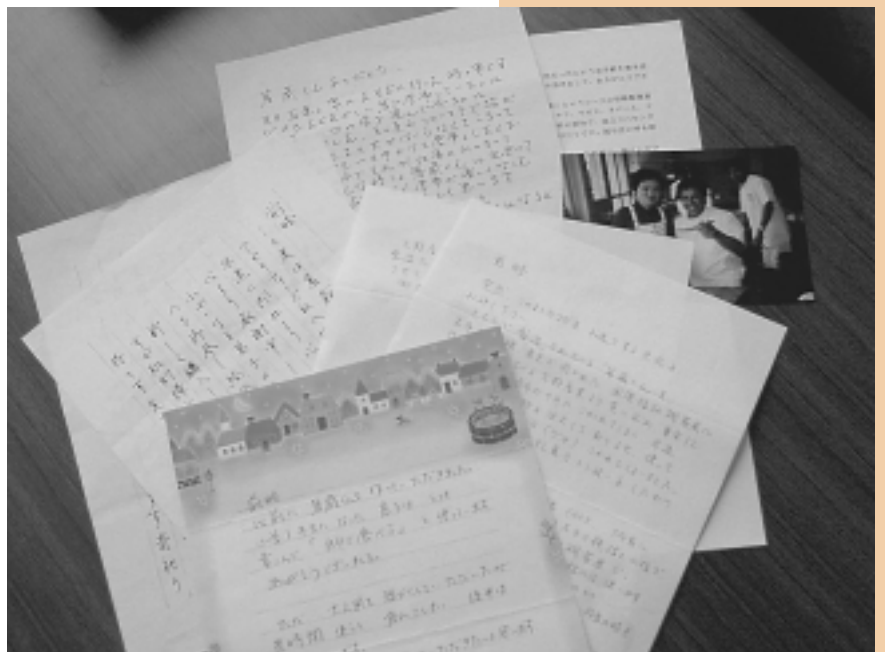
「特に最初は、どのような素材が適当かわからず、それでもただひたすら研究に没頭した悪戦苦闘の日々だった。」
(社長談)

いくつもの失敗を経て完成したのが、「箸蔵くん」。全体にガッチリとしたデザインは、無理なく自然と手の中にフィットし、簡単な指の動作で挟むことができます。

「特に苦労したのが素材。それぞれの家庭ごとに食器乾燥機にかけたり、手洗いだったり洗い方は様々。しかも毎日使用するものだから耐久性・耐熱性の追及に特に苦労した。」(社長談)
この「箸蔵くん」が評判を呼び、東京のスプーン会社の経営者の方から作業療法士学会に出品することを進められました。この学会で医療・介護関係者や研究者から大きな注目を浴びたことが呼び水となり、福祉業界の中で広く認知されるようになりました。

「当時、福祉業界の人に「箸」のニーズ、市場はあるのかたずねたところ、「時々

そのような要望は聞くが、それがどれだけの数があるかわからない」と答えられ、正直やっていけるか不安だった。この展示会で予想以上の反響があり、この出会いが大きな転機となった。」(社長談)



同社の製品を使用したお客様からの手紙
手紙には感謝の言葉に加え、実際使用した感想や要望などが書かれており、同社の製品作りのアイデアと原動力の源となっています。

経営革新承認企業紹介



『箸ノ助』

紫檀の木を一本一本削り出して作った「おしゃれなお箸」です。少し普通の箸が使いづらくなった方にお勧めです。



『箸蔵くん』

素材・使いやすさを追求し、『箸蔵くん』をグレードアップしたモデルです。

社会に貢献できる企業を目指して

現在では、同社の製品は、全国の介護ショップ、カタログに取り扱われています。

この確固たる地位を築けたのは、社長が一人一人のお客様に対して、細やかな対応を行ってきたからです。「人によって症状が異なり、ひとつの商品では微妙に合わないことが多い。使う人の意見を取り入れて改良を加えていく。非常に手間がかかり大変だが、使う人に喜んでもらいたいからできる限り対応する。」(社長談)

この社長の努力が全国各地の使用者の喜びを与えています。

「お客様から故障や破損、使い方に対しての要望など様々な意見を頂く。それは、次の商品開発のヒントと意欲を与えてくれる。」(社長談)

その数々の意見を基に生まれたのが「箸ぞうくん」。今までの耐久・耐熱性に加え非常に高い耐薬品性をもったプラスチック素材とシリコンゴムによって「箸のグリップ部分」の一部をゴム製にすることで、接触障害や乾燥肌の方が使用しても非常に滑りにくく、フィット感に優れた持ちやすい箸になっています。

「従来の商品は、使いやすさを追求し優先した結果、『色』(目立ちすぎ)『形』

(おおげさ)など、多くのお客様から意見を頂いていた。その点に特に注意し、多くの人々に受け入れやすいデザインと機能性を追及した。厳密に言えば「箸」ではないが、より「箸」に近いもの。箸で食べられる喜びは、実際に不自由な体験した人にしかわからない。

実際、一度当社の「箸」をご利用して頂いたお客様には継続して使用していただいている。現在、「食育」が見直されている今、「箸」を使って食べ物の味を実感して喜びを感じて欲しい。」(社長談)

社長とお客様との想いが、新たな商品を生み出し、喜びを共感できる限り、福祉の世界で活躍されていくことでしよう。

「食育」とは・・・食材や食品、調理といった「食べる事」に始まり、マナーや伝統といった「文化」、更には国内自給率や国際的な食糧問題などの時事問題に至る「食」に関する多岐に渡った分野についての「教育」を指しています。

平成17年7月15日より国民が健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむため、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進すること等を目的とした「食育基本法」が施行され、ますます「食育」への注目度が高まっています。

会社概要：有限会社ウインド
 代表取締役：中川 博敬
 住所：〒630-0211
 奈良県生駒市桜ヶ丘5-29
 TEL：0743-75-3887
 事務所：奈良市学園南2-7-24
 TEL：0742-47-5945
 FAX：0742-44-2349
 事業内容：自助具(箸)等の製造・販売
 経営革新テーマ：付加価値を高めた商品開発などによるブランドの構築

当支援センターでは中小企業の方々の経営に役立つセミナーを開催しております。
皆様のご参加をお待ちしております。

セミナー開催報告

6月23日(金)第1回 中小企業支援セミナー 参加者37名

・本年4月に公布された『中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律』(通称「中小ものづくり高度化法」)について

講師 近畿経済産業局産業部製造産業課 調査官 西川 欣伸 氏

・“経営革新”に挑戦された経営者の体験発表

講師 株式会社ヤブ原産業関西 代表取締役 藪原 登 氏

・5月に施行された『新会社法』の解説

講師 株式会社イーサーブ 代表取締役

鈴木会計事務所 公認会計士 鈴木 邦明 氏



7月6日(木) Yahoo!直伝 ~ Yahoo!ショッピング& オークション『ストア』の最大活用~ 参加者36名

・ネットショップ成功の秘訣

・Yahoo!リサーチとは?

講師 ヤフー株式会社

7月18日(火) SEM/SEOセミナー 参加者52名

・Yahoo!などの検索エンジンで、最初のページ(上位ページ)にのるための、『しかけ』

・多くの人からアクセスしてもらうにはどうすればいいのか?

講師 『ホームページ集客を利益に変える成功方程式』の著者
株式会社NTTデータキュービット 里吉 克仁氏



8~10月のセミナー・イベントスケジュール

8月30日(水)~9月1日(金)

『なららしくないかも?企業展』(代官山iスタジオ)

9月12日(火)

第2回経営革新ゼミ(春日荘 予定)

9月13日(水)~15日(金)

BioJapan2006 World Business Forum(大阪国際展示場)

9月22日(金)

IT研修 デジカメ研修『~売れる商品の撮り方~』(奈良県立図書情報館)

9月28日(木)

第3回中小企業挑戦セミナー(当支援センター)

10月12日(木)

IT研修 ビジネスプロク研修(奈良県立図書情報館)

10月25日(水)

第3回経営革新ゼミ(橿原ロイヤルホテル 予定)

(財)奈良県広域 地場産業振興センターの ご案内

2006 なら・グッドデザイン募集

募集するもの

県内で生産される地場産品及びそのパッケージで、かつ、次に該当するもの。

- (1) 選定部門 継続的、反復的に生産がおこなわれ、すでに市場で販売されているもの、もしくはその意図で開発されたもの。
実用に供されるもの。(美術工芸品等は応募できません。)
類似した製品やデザインが他の企業、団体、個人等から発表されていないもの。

(2) 10 years部門

平成8(1996)年度以前の「なら・グッドデザイン」において選定された製品で、選定後10年間以上継続して製造、販売されているもの。

応募資格

県内に事業所を有する企業、団体。
県内に住所を有する個人で、業として県内の地場産品を製造、販売している者もしくはそれらをおこなおうとしている者。



募集方法

次に示す「応募書類」が募集期間内に電子メール、郵送または持ち込の方法によって提出されたものに限り受け付けます。

電子メール

当センターのホームページから「応募票」をダウンロードし、写真データとともにメールに添付して下記のアドレスまで送信してください。

E-mail:jibasan@mahoroba.ne.jp

郵送または持ち込み

当センターから送付または当センターのホームページからダウンロードした「応募票」と写真(メディアまたはプリント)をセンターまで郵送または当センターまでお持ちください。

募集期間

平成18年8月1日(火)~31日(木) 必着)

募集分野

プロダクト 日用雑貨、スポーツ用品、住生活用品、工業製品等

ファッション 衣料品、履物、装飾品等

パッケージ (食品、薬品等の) 容器、包装紙等

クラフト 自然の素材(木、竹、和紙等)を活用した製品等

受付時間

am 8:30 ~ pm 5:15(土日祝を除く)

応募書類

応募票 当センターホームページからもダウンロードできます。

製品の写真 デジタル、アナログを問いませんが、写真の添付されていないものは受け付けません。

製品のカタログ、パンフレット、解説書等

審査に必要と思われる科学的データ、工業所有権等の資料

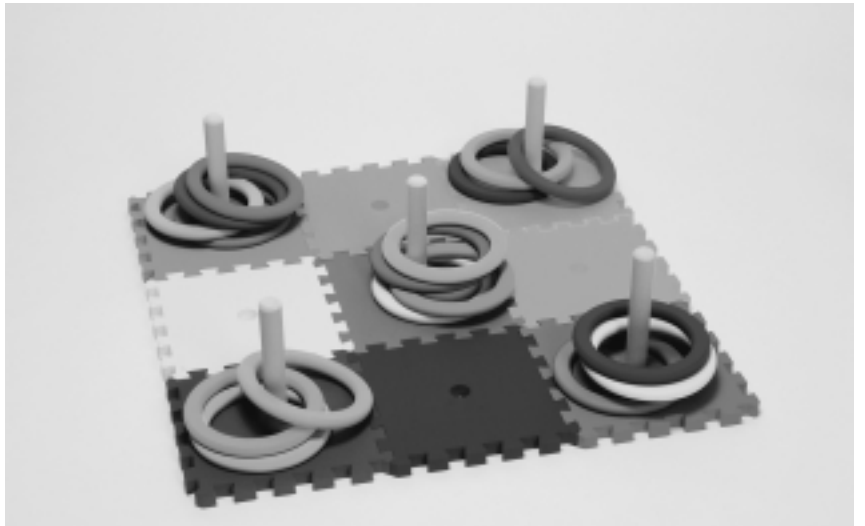
及び についての提出は任意とします。

応募製品の搬入

平成18年9月19日(水)~25日(月) 必着)

受付時間

am 8:30 ~ pm 5:15(土日祝を除く)



応募料

無 料

選 定

選定された製品については、選定証を交付します。

表 彰

選定品の中から特に優れたものについては、以下の賞を授与します。

- なら・グッドデザイン大賞(1点)
- 優秀賞(5点)
- パッケージデザイン賞(若干数)
- ファッションデザイン賞(若干数)
- 地域おこしデザイン賞(若干数)
- 人にやさしいデザイン賞(若干数)
- 地球にやさしいデザイン賞(若干数)
- 技術デザイン賞(若干数)
- 10 yearsデザイン賞(若干数)
- 奨励賞(若干数)

東京ギフトショー

次の要件に該当する製品で、その製品の出展者から希望があったものについては、平成19年2月に開催される「東京インターナショナルギフトショー」にその製品に出展することができます。

『2006なら・グッドデザイン』において選定された製品
過去の『なら・グッドデザイン』において選定された製品

主催:(財)奈良県広域地場産業振興センター

後援(予定):奈良県/奈良デザイン協会/奈良県中小企業団体中央会



応募用紙請求及びお問い合わせ

財団法人 奈良県広域地場産業振興センター
〒635-0015 奈良県大和高田市幸町2-33
TEL : 0745-22-2727 FAX : 0745-22-0561

URL : <http://www.mahoroba.ne.jp/jibasan>
E-Mail : jibasan@mahoroba.ne.jp

出展者
募集中

微細精密加工技術展 2007

モノづくり新時代への挑戦 ～無限の可能性がここにある～

会 期 2007年5月23日(水)～26日(土)
10:00～17:00(26日のみ16:00まで)

会 場 インテックス大阪

開催目的 : 世界におけるわが国製造業の振興と更なる発展を図るため、モノづくりに関わる微細・精密・高密度加工技術を展示紹介し、その普及と交流を促進させる。

主 催 : 微細精密加工技術展2007実行委員会

[構成団体]

(財)大阪産業振興機構 (財)京都産業21
(財)ひょうご産業活性化センター (財)滋賀県産業支援プラザ
(財)奈良県中小企業支援センター (財)わかやま産業振興財団
(財)ふくい産業支援センター (財)大阪市都市型産業振興センター
日刊工業新聞社

開催までのスケジュール

出展申込締め切り 2007年2月9日(金)

搬出・撤去 5月26日(土)閉館後～27日(日)午前中

出展者説明会 3月中旬

会 期

5月23日(水)～26日(土)

各種届出期限 4月中旬

搬入日 5月20日(日)午後～22日(火)
号館によって別途定めます。

出展料支払い期限 4月23日(月)

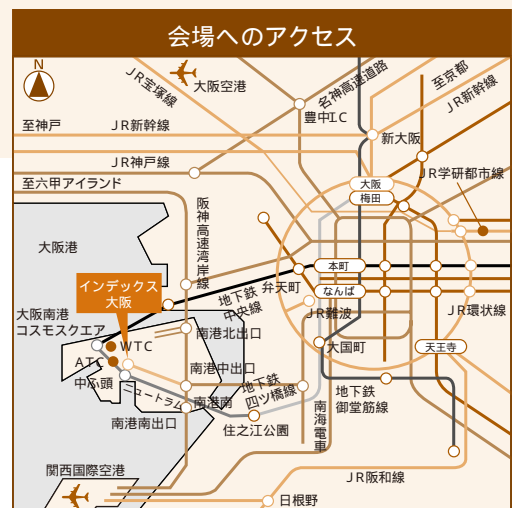
申し込み期限

2007年2月9日(金)必着

ただし、予定小間数に達した場合は期限前であっても受付を締め切ります。

申し込み・
お問合わせ先

『微細精密加工技術展 2007』事務局
日刊工業新聞社 大阪支社内
〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16
[TEL] 06-6946-3384
[FAX] 06-6946-3389
[e-mail] mmts@nikkan-osaka.jp
[URL] http://www.mmts.jp



あなたは、どんな家に住みたいですか？
 安心して暮らせる家、頑丈な家、
 木の香りがする家・・・
 そんな希望を叶えます。



奈良の棟梁が集う
匠の家
開発事業協同組合

〒630-006 奈良県桜井市粟殿1030-1
 TEL: 0744-45-2453

URL: <http://www4.kcn.ne.jp/takumiie/>



大切な家屋や工場の屋根・外壁を強く美しく改修します

当社の
 オススメ

パーマスレート遮熱工法
 クララフォーム R SGL断熱工法
 アロンQD防錆コート
 光触媒コーティング塗料
 塗料型断熱材セラミックカバー-CC100

株式会社 ヤブ原産業関西

〒636-015
 奈良県生駒郡斑鳩町龍田1丁目4番19号
 TEL: 0120-74-2267

<http://www.yabuhara-sangyo.co.jp>
kansai@yabuhara-sangyo.co.jp



奈良友好会

奈良友好会は

第5回 元気企業ビジネスフェア NANTO

の出展目指しています。

大昌商事株式会社

TEL: 0745-78-5220
 FAX: 0745-78-8837

～ 確かな技術力で時代のニーズに応える～

研削・切削刃物の知識を生かし、柔軟な発想と確かな技術力で
 多様化する時代のニーズに応えていきます。

研磨・超表面ラップの受注業務
 研削砥石・ダイヤモンドホイール・研磨布紙・切削工具・研切削油

道本熔断鋼業所

TEL: 0745-77-9138
 FAX: 0745-77-9141

～ 熔断一筋!お客様のニーズに応える～

創業以来、熔断一筋にコストパフォーマンスとハイクオリティーを
 提供し、お客様のご期待に添える企業であり続けたいと願い、社員
 同一層の努力を積み重ねて参ります。

各種鋼板・各種レーザー加工・各種鉄鋼
 鍛造・鋳物・熱処理・ショットプラス・機械加工・材料持加工

有限会社 増井電化工業

TEL: 0745-75-4065
 FAX: 0745-75-4388

～ 各種メッキ加工でお客様のニーズに応える～

各種機械部品のメッキ加工を行っています。
 製品全体の機能や価値を高めた高精度の製品を提供しております。

機械部品のメッキ・ショット・黒染・パーカー(リン酸マンガン)・黒
 クロム・硬質クロム



MORISHIGE

家具の
りょうけ
良家
株式会社

家具サロン良家株式会社

高級ブランド家具が多彩に勢揃い

ダイニングセットやソファなどの家具が、バラエティー豊かに展示されています。

モリシゲやシモンズ、コスガをはじめ人気の家具ブランドが大充実。

お気軽にご来店下さい。

香芝本店 〒639-0265 奈良県香芝市上中254-4 TEL 0745-76-8855 FAX 0745-76-8121
 奈良店 〒630-8014 奈良市四条大路1-5-43 TEL 0742-35-8700 FAX 0742-35-8703
 橿原店 〒634-0843 奈良県橿原市北妙法寺町612 TEL 0744-21-8855 FAX 0744-21-8866

ご相談は支援センターへ

(財)奈良県中小企業支援センター

〒630-8031

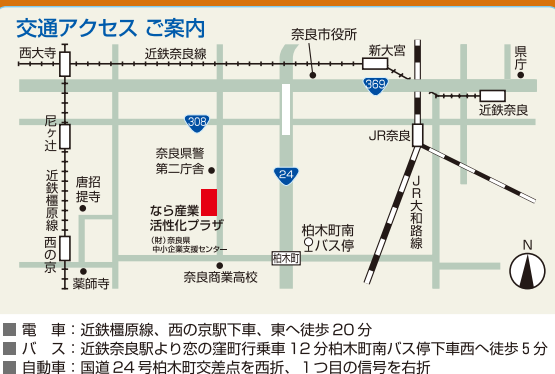
奈良県奈良市柏木町129-1
 なら産業活性化プラザ3F

電話番号 **0742-36-8312**

FAX番号 **0742-36-4003**

URL <http://www.nashien.or.jp>

2006. Summer Vol.26



R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOY INK

この冊子はエコマーク認定の再生紙および環境調和型大豆インキを使用しています。